

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	情報と法						
科目区分	教職科目	単位数	2単位	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	成宮哲也						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>複製物の作成など技術的に可能であることが、法的に如何に位置づけられているかを理解すること</li> <li>技術の進歩などが、法律にどのような影響を及ぼしているかを理解すること</li> <li>著作権法に関わる事例について、適切な判断ができる知識、感覚を身につけること</li> </ul>						
内容	4月8日 4月15日 4月22日 4月29日 5月13日 5月20日 5月27日 6月3日 6月10日 6月17日 6月24日 7月1日 7月8日 7月15日 7月22日 7月29日	第 1回: 導入講義: 授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第 2回: 民法の理解(特に物権を中心として講義を行う) 第 3回: 知的財産権および著作権法の概要、著作者および著作権者の理解 第 4回: 著作物の意義についての理解 第 5回: 著作物の例、著作人格権の理解 第 6回: 著作人格権の理解、著作権の保護期間および著作財産権の概要の理解。 第 7回: 著作財産権のうち頒布権等の理解 第 8回: 著作財産権のうち貸与権等の理解 第 9回: 著作財産権のうち、上演権、演奏権の理解 第10回: 著作財産権のうち、公衆送信権等の概要の理解 第11回: 著作財産権のうち、展示権、譲渡権の理解 第12回: 二次的著作物の利用に関する原著者の権利、私的使用のための複製 第13回: 著作権の公共的限界のうち、引用等の理解 第14回: 著作権の公共的限界のうち、教育のための利用の理解 第15回: 定期試験(60分) 第16回: 定期試験の講評と書籍の自炊などの説明					
成績評価基準	定期試験(100%)						
授業到達目標の達成度	試験の結果からみた場合、おおむね達成されたとみることができるが、理解度としては多くは合否ライン前後であった。						
反省点	よい意味でも、よくない意味でも、授業に対する姿勢が、成績に直結した結果となっている。関心をもってもらえるようにさらに工夫したい。						
来年度の計画	著作権法の改正に関する話題は多いので、できるだけ多く紹介して、著作権法に関心をもつことができるように努めたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業および定期試験に必要な資料として、著作権法を準備するように再三伝えていましたが、準備していた学生はわずかでした。授業のスライドの多くは、条文に基づいて、作成しているので、条文があれば、授業内容を理解する際の助けになったと思います。						
履修登録者数	4名	定期試験 受験者数	4名	合格者数	2名	合格率	50%